



大阪ガス

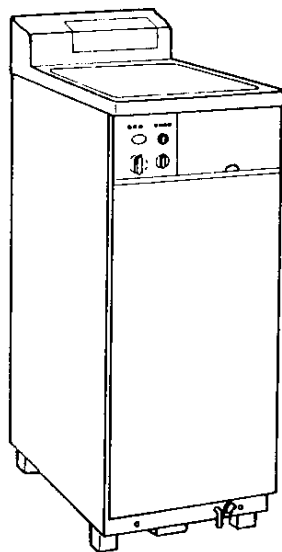
ガス湯沸器〈瞬間式・調理台型〉 —セントラルタイプ—

取扱説明書

33-600型 33-602型
33-601型

保証書付

型式名GBF-1601D



ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器〈瞬間式〉をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

各部の名称	2
特に注意していただきたいこと	4
器具の設置	7
使用手順	8
冬期の凍結による破損防止について	12
故障異常の見分け方と処置方法	14
日常の点検・手入れ	17
長期間使用しない場合	17
アフターサービスのお申し込み	18
特長	19
寸法図と仕様一覧表	19
本製品と快適なくらしのために	22

ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
もとせんも閉
める習慣を



お風呂の空だき
水もれ、沸かしすぎ
にご注意

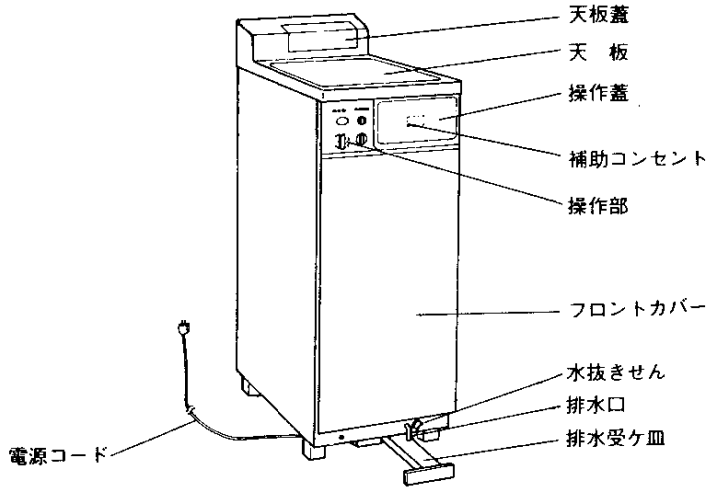


ガス器具は
ガスの種類にあつた
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

各部の名称

●器具本体



●操作部の名称とはたらき

運転ランプ 運転スイッチを入れたと点灯します	燃焼ランプ 運転ランプ点灯時に、カランを開くと給湯を開始し、ランプが点灯します
切替確認ランプ 点灯しているとき給湯の湯温調節ができます シャワーコントローラ(別売)をつけているときは、シャワーコントローラのシャワー切替スイッチで「入」「切」します	
運転スイッチ ご使用になる時「入」にします	補助コンセント
タイマーつまみ 設定時間経過後、ブザーが鳴ります 調理時間などの目安としてお使いください	湯温微調節つまみ 湯温切替つまみで設定した湯温をさらに細く調節するとき回します
湯温切替つまみ 湯温を大きく4段階に切替えます	補助コンセント 1000Wまで使用できます

*切替確認ランプが点灯時のみ作動します。

各部の名称②

●シャワーコントローラ(別売)

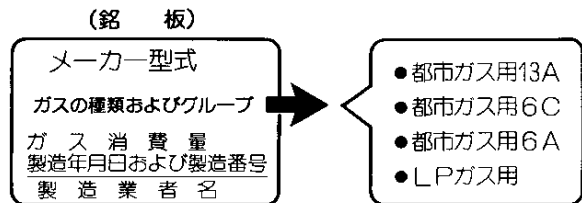
燃焼ランプ 運転ランプ点灯時に、カランを開くと給湯を開始し、ランプが点灯します	シャワー切替ランプ 点灯しているとき給湯の湯温調節ができます シャワー切替スイッチで「入」「切」します	シャワー切替スイッチ スイッチを入れると湯温調節はシャワー制優先になり、器具本体での湯温調節はできなくなります
運転ランプ 器具本体の運転スイッチを「入」にすると点灯します		
湯温切替つまみ 湯温を大きく4段階に切替えます	湯温微調節つまみ 湯温切替つまみで設定した湯温をさらに細く調節するとき回します	

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
器具本体の前面にはってある銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。



- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

用途についてのご注意

- 給湯及びシャワー以外の用途には使用しないでください。
- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

特に注意していただきたいこと②

使用上のご注意

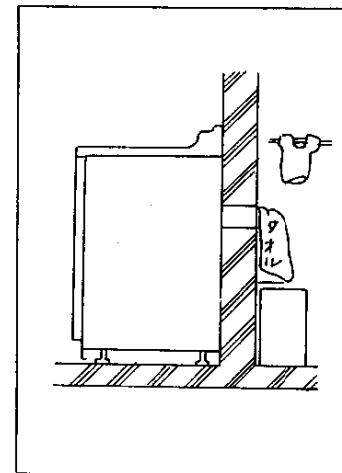
ガス漏れ予防

- お出かけや、おやすみになるときは、必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのおいや、不快なおいがないかとときどき確かめてください。

火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗たく物、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないでください。

- 排気トップの上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。

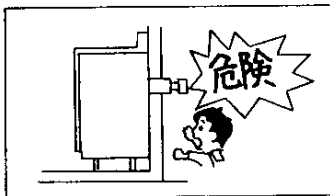


特に注意していただきたいこと③

使用上のご注意

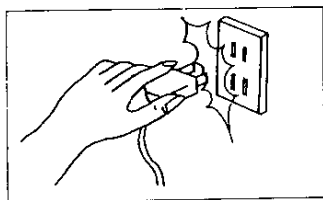
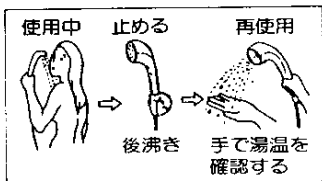
やけどのご注意

- ご使用中および使用後しばらくは、器具本体の給排気トップとその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいらっしゃるご家庭はご注意ください。
- シャワーなど使用後すぐに再度お使用になるときは器具の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、ご注意ください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉じ、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップにご連絡ください。
〔絶対に使用しないでください〕
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。



凍結についてのご注意

- この器具には、冬期の凍結による破損予防のために「凍結予防ヒータ」が内蔵されています。凍結予防ヒータが作動する可能性のある期間中は、緊急の場合以外には、電源プラグを抜かないでください。
- 厳寒時には、器具内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので器具内の水が凍るおそれのあるときは凍結を予防する処置を必ず行ってください。
(詳しくは12～13ページの「冬期の凍結による破損防止について」の項にしたがって処置をしてください。)

凍結したとき

- ①器具や配管が破損しますと高額な修理費がかかります。(有料)
- ②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- ③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、8ページ「使用手順」の項以下の操作を行なってください。

特に注意していただきたいこと④

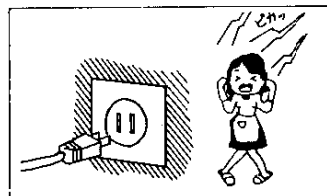
使用上のご注意

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止(器具せん、ガス元せん閉止)して十分な点検をお願いします。
(故障異常の見分け方と処置方法については14ページをお読みください)

雷雨時のご注意

- この器具には、電線からの誘導雷等の異常電圧を吸収し、器具を保護する雷サージ吸収装置(ZNR)を備えています。直撃雷については電気器具全般に問題がありますので、近くで雷の音が聞えてきたときは、電気部品の破損を防止するため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



日常の点検・手入れ

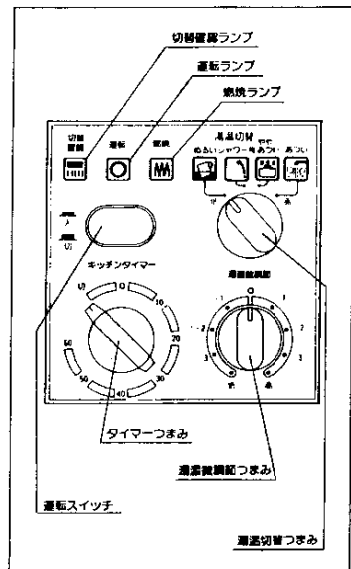
- 日常の点検、手入れをしてください。(詳しくは17ページをごらんください。)
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずに大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

器具の設置

(詳しくは工事説明書をお読みください)

- 器具の設置は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

使用手順



■ 点火

(1) 点火

- 天板蓋をあけガス元せん及び給水元せんが「開」になっているのを確認してください。
- 運転スイッチを押し「入」側にしてください。運転ランプが点灯します。
- お湯を使用する場所の給湯せんをあけると自動的にバーナに点火してお湯が出てきます。
この時、燃焼ランプが点灯します。
※この器具はダイレクト点火方式の採用により、たね火をなくし、給湯せんの開閉で直接メインバーナの点火・消火を行ないます。

(ご注意)

初めて使う場合は、ガス配管途中に空気がたまっていますので、すぐ点火せず安全動作に入ることがあります。このときは、燃焼ランプが点滅しますので、給湯せんをしめてから運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。

(2) 再点火

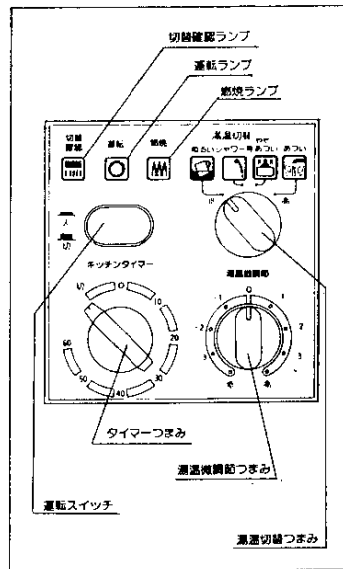
運転スイッチを「切」にした後、すぐ使用される場合は3秒程待つてから運転スイッチを「入」にしてください。

■ 給湯

※同時に2ヶ所（例えば台所と洗面所等）でお湯を出すことはできませんが、それぞれの出湯量は減ることがあります。シャワー使用時は同時使用をできるだけさけてください。

- お湯を使用する場所の給湯せんをあけ、混合水せんにより、湯と水を混合し、必要な湯温と湯量を調節してください。給湯せんを絞りますとバーナの火が消えることがありますのでご注意ください。

使用手順②



■ 湯温調節

本体操作部と浴室内のシャワーコントロールのいづれか一方から湯温調節ができます。

● 本体操作部で湯温調節するとき

本体操作部の切替確認ランプが点灯していることを確認してから湯温調節してください。点灯しないときはシャワーコントロールのシャワー切替スイッチを押せば点灯します。

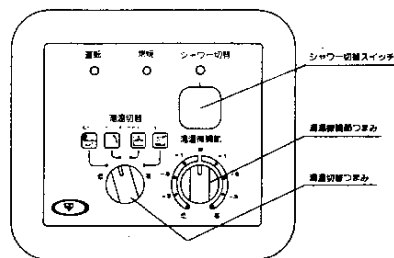
● シャワーコントロール(別売)で湯温調節するとき

シャワーコントロールのシャワー切替ランプが点灯していることを確認してから湯温調節してください。点灯しないときは、シャワー切替スイッチを押せば点灯します。

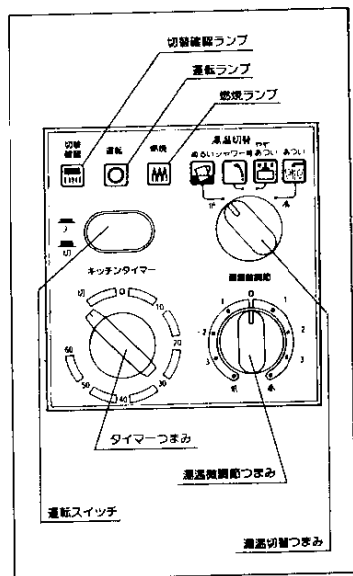
- 能力切替および湯温調節機能の切替はシャワーコントロールのシャワー切替スイッチの押し操作でできます。(本体操作部では切替できません。)

- シャワー使用後はシャワー切替スイッチを押し本体操作部に湯温調節機能を切替えておいてください。

シャワーコントロール(別売)



使用手順③



- 湯温切替つまみを右へまわすと高温になり、左へまわすと低温になります。出湯温度はこのつまみで大きく4段階に選択できます。
- 湯温調節つまみをまわすことにより、上記の4段階ごとに出湯温度の微調節ができます。

■つまみ位置と出湯温度(℃)のめやす

湯温切替	湯温調節		
	低	0	高
ぬるい	37	39	42
シャワー等	39	43	46
ややあつい	42	47	52
あつい	65	72	80

■キッチンタイマーについて

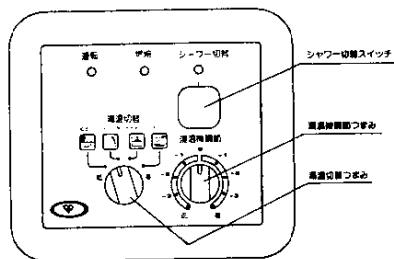
このタイマーは器具運転の「入」・「切」にはご使用できません。浴そうへの給湯時間や調理時などのお知らせタイマーとしてご使用ください。

- タイマーつまみを設定時間に合わせてください。設定した時間が経過するとブザーが鳴ります。
※タイマーを使用しない場合は、タイマーつまみを「切」の位置にしておいてください。

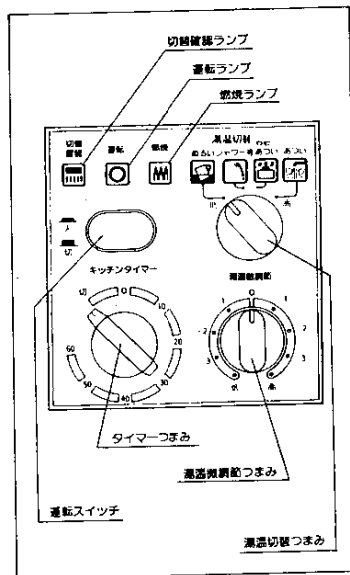
■補助コンセントについて

補助コンセントを操作蓋の中に設けています。このコンセントは1000Wまでで使用してください。

シャワーコントローラ(別売)



使用手順④



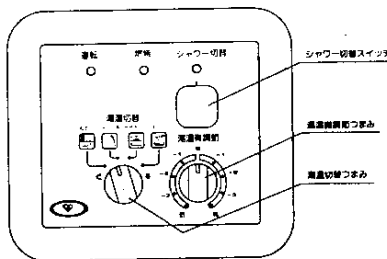
■消火

- 使用後、給湯せんをしめれば自動的にバーナの火は消えます。給湯せんを完全にしめてお湯の出をとめてください。
- 就寝前や長時間使用しない場合は運転スイッチを「切」側に押し、ガスの元せんをしめてください。運転ランプが消えます。

■ランプ点滅時

- 万一、火が消えたり、安全装置が作動しますと、ガスを閉じ燃焼ランプが点滅して安全動作をお知らせします。この時は、運転スイッチをいったん「切」にし、数秒待ち再度「入」にしてください。給湯せんをあけて燃焼ランプの点滅が止まれば正常です。数回くり返しても点滅するときは、お買い求めになった販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

シャワーコントローラ(別売)



■停電時の使用方法

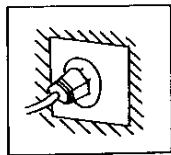
- 使用をいったん中止し、通電再開後8ページ■点火の項以下の操作を行なってください。
※この器具は電気で作動しますので、停電中は使用できません。

冬期の凍結による破損防止について

冬期は給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起ることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

凍結予防ヒーターによる方法

- この器具には、外気温がさがってくると自動的に器具内を保温するヒーターを組込んでいます。
- 器具の電源プラグが抜けているとヒーターは働きませんのでご注意ください。
- 外気温が極端に低い場合(-15℃以下)は凍結防止ができなくなります。

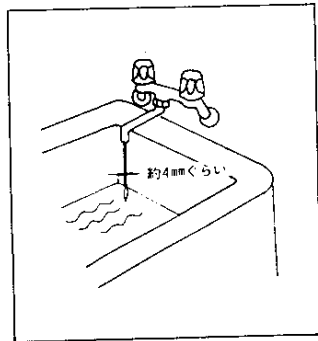


電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
電源プラグが外れているとヒーターが作動しません。

通水による方法

この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結も防止できます。

1. ガスの元せんをしめます。
2. 運転スイッチを「切」にします。
3. 給湯せんをあけ1分間に約200cc(牛乳ビン1本ぐらい) (特に寒い日は多目に)を流してください。
※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

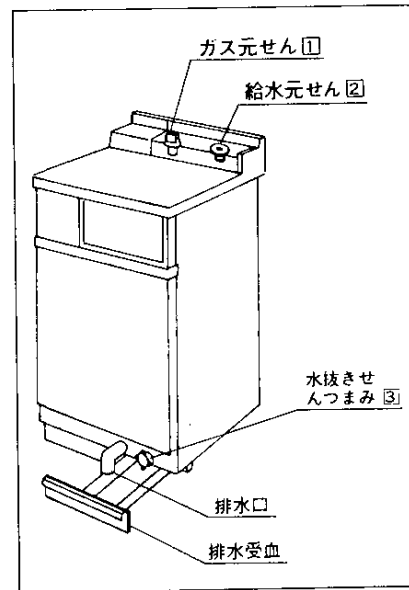


冬期の凍結による破損防止について②

器具内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。

- ①運転スイッチの「入」・「切」をゆっくり2~3回繰り返し最後に「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ②ガス元せん①をしめてください。
 - ③給水元せん②をしめてください。
 - ④すべての給湯せんを全開にしてください。
 - ⑤水抜きせんつまみ③を左にまわし、排水口からの水を排水受皿で受けてください。
※受け皿の半分ほどの深さまで水がたまったら、そのつど水をすててください。
受け皿から水があふれないよう注意してください。
- 以上の操作で器具内の水は排水されますので、排水口より水が出ないのを確認し、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
 - 再度使用されるときは、水抜きせんつまみ③およびすべての給湯せんをしめ、給水元せん(給水補助せん)②をあけ、すべての給湯せんから水が出るのを確認してからご使用ください。



〔凍結したときのご注意〕

万一、水抜きを忘れて凍結を起した場合には、氷が解けるまで火をつけしないでください。すべての給湯せんから水が出ることを確認してからご使用ください。

故障異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

次のような場合は故障ではありません

①最低作動水量について

この器具は、器内の通水量が最低作動水量（2.5ℓ/分）以下になったときは点火しませんので、故障とお間違いのないように、ご注意ください。

②同時給湯について

2箇所同時にお湯を使用するときに、給湯配管の方法、給湯せんの開きぐあいによって、それぞれの給湯せんのお湯の量が異なることがあります。特に湯沸器から遠い場所、高い位置の給湯せんでは、お湯の出ない場合もあります。また、シャワーをご使用中に、他の給湯せんを同時使用しますと湯温や湯量が変わりますので、ご注意ください。

③給排気トップからの白い煙について

冬期(外気温が低いとき)には、排気ガス中の水分が水蒸気变为るために給排気トップから白い煙が出ることがあります。

これは、人のはく息が白くなるのと同じ現象ですので、何ら心配はありません。

故障・異常の見分け方と処置方法②

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象 原因	点灯しない			使用中に消火する	炎が安定しない	炎火で燃える	高温のお湯が出ない	低温のお湯が出ない	処置方法
	運転ランプが点灯しない	燃焼ランプが点灯しない	燃焼ランプが点滅する						
ガス元せんの開き忘れ			○						ガス元せんを全開にする
ガス元せんの開き不足			○	○			○		ガス元せんを全開にする
ガスがなくなっている (LPガスの場合)			○	○			○		ボンベを新しく替える
ガス管の中に空気が残っている			○						8ページ参照
ガス圧が適切でない			○	○	○	○	○		*
電源プラグが抜けている	○	○		○					コンセントにしっかり差し込む
停電している	○	○		○					使用をいったん中止する
安全装置の作動			○	○					*
バーナー炎口づまり			○		○	○			*
湯温調節機能を切替えていない							○	○	9～10ページ参照
給水元せんの開き不足		○							給水元せんを全開にする
給水元せんの開き忘れ		○							給水元せんを全開にする
湯温調節が適切でない							○	○	9～10ページ参照

なお*印のもの、処置や原因のわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法③

安全装置が作動したときの処置方法

■バーナ安全装置

- 使用中に万一、バーナの炎が消えても、安全装置が働いて自動的にガスが止まり燃焼ランプが点滅します。
- 給湯せんを閉めてから運転スイッチをいったん「切」にし、しばらく待ってから再度「入」にしてください。

■過熱防止装置（温度ヒューズ）

- 使用中器具内の温度が異常に上昇したときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

■残火安全装置（ハイリミットスイッチ）

- 万一、熱交換器内が空焚状態、または異常温度となった場合に作動し、自動的にガスが止まります。
- この装置が働くと器具の診断が必要です。ガス元せんを閉め、操作部の運転スイッチを切ってからお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社へご連絡ください。
- 燃焼ランプが点滅している時は、いったん運転スイッチを「切」にして、しばらくしてから「入」にしてください。
- 再び燃焼ランプが点滅する場合は運転スイッチを「切」にしてからガス元せんを開め、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。

■過圧逃し弁

- 万一、熱交換器内の圧力が異常に上昇した場合、逃し弁が働き、内圧を下げます。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

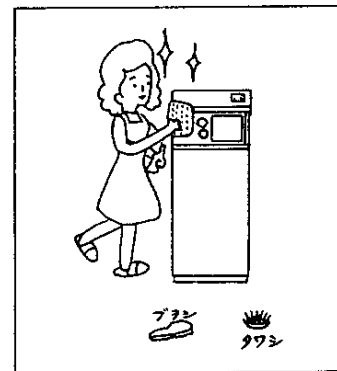
- ①器具を安全、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
- ②点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行なってください。
- ③フロントカバーなどは、外さないでください。

点 検

- 給排気トップの上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいていませんか？
- 給排気トップ（排気口）をふさいでいませんか？

お 手 入 れ

- 外装の掃除
やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください。）

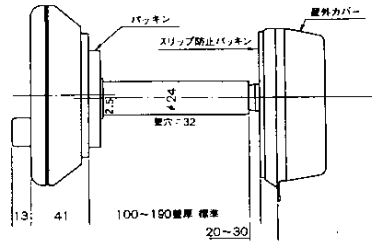
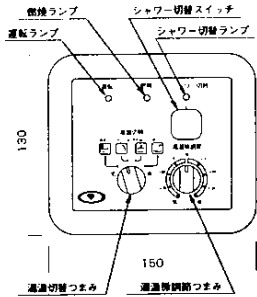


長期間使用しない場合

長期間に渡って使用しない場合は、器具の水抜きを行なってください。
（器具の中の水を抜く方法については13ページをお読みください）

寸法図と仕様一覧表②

●シャワーコントローラ（別売）



寸法図と仕様一覧表③

仕様一覧表

項目	種別			
	33-600、33-601、33-602型			
	都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	L P ガス
ガス消費量 (Kcal/h)	30500	30500	30500	2.55kg/h
外形寸法 (mm)	高さ800mm×巾350mm×奥行550mm			
重量 (kg)	35kg			
接続	ガス	20A(PT $\frac{3}{4}$)		15A(PT $\frac{1}{2}$)
	給水	20A(PT $\frac{3}{4}$)		
	給湯	20A(PT $\frac{3}{4}$)		
	電気	AC100V、60Hz		
電気消費量 (W)	85(凍結予防ヒーター116W)			
点火方式	電子イグナイターによるダイレクト点火			
最低作動水圧(kg/cm ²)	0.1			
最低作動水量(ℓ/分)	2.5			
安全装置	バーナー安全装置、過熱防止装置 残火安全装置、凍結予防ヒーター 過圧逃し弁、漏電安全装置			
日水協認可登録番号	A-2331			

出湯能力 (能力最大) (ℓ/分)			
		上昇温度	
ガス種別		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	6C	(16.5)	10.3
	13A	(16.5)	10.3
	6A	(16.5)	10.3
L P ガス		(16.5)	10.3

※ () 内の出湯能力は計算値です。